

遺跡から見た 『古代武蔵・相模の社会』



日時：平成30年2月3日（土）10：00開会 9:30受付開始

会場：サンピアンかわさき（川崎市立労働会館）ホール
（裏面案内図参照）

主催：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団 東京都埋蔵文化財センター

共催：公益財団法人かながわ考古学財団
公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団

参加：無料 事前申込み制（定員730名：応募者多数の場合は抽選）

応募方法：往復はがきに氏名・住所・電話を明記し、下記までお申込みください。

〒206-0033 東京都多摩市落合1-14-2

東京都埋蔵文化財センター 三都県公開セミナー係

お問合せ電話番号 042-374-8044

*お預かりした個人情報、本事業実施のご案内にのみ利用いたします。

申込締切：平成29年12月28日（木）必着

開催にあたって

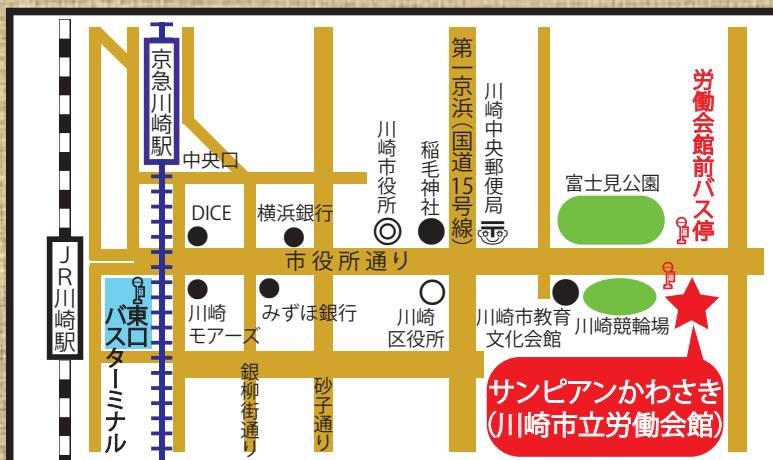
この公開セミナーは、東京都・神奈川県・埼玉県の埋蔵文化財関係財団による連携事業として、平成20年度から毎年開催しております。セミナーでは、各財団が行った発掘調査や研究の成果を広く皆様にお伝えするとともに、財団の業務や役割についてもご理解を深めていただくことを目的に、三都県が持ち回りでっており、今年度は第10回目を迎えました。

今回は奈良時代から平安時代にわたる「古代」を対象に、「遺跡から見た古代武蔵・相模の社会」をテーマに開催いたします。古代武蔵国は、埼玉県・東京都・神奈川県にまたがる大国であり、このことから三都県が古くより密接な関係にあったことがうかがわれます。今回は「土器」「集落・生産」「墓制」をキーワードに、最近の発掘調査成果を取り入れながら、当時の人々が暮らした社会の様子を探っていききたいと思います。

多くの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

【開催内容】

- 10:00~10:05 開会挨拶 坂内顕宏 (公益財団法人東京都スポーツ文化事業団常務理事・東京都埋蔵文化財センター所長)
- 10:05~10:30 趣旨説明 大西雅也 (東京都埋蔵文化財センター)
- 10:30~11:15 基調報告1 「土器から探る武蔵・相模の古代社会」
鶴間正昭 (東京都埋蔵文化財センター)
- 11:15~12:00 基調報告2 「職人技の夜明け」
魚水 環 (公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団)
- 12:00~13:00 昼食休憩
- 13:00~13:45 基調報告3 「死からみえる古代社会ー火葬墓集中地域・南武蔵と謎の相模ー」
西田真由子 (公益財団法人かながわ考古学財団)
- 13:45~14:45 記念講演 「考古学からみた関東の渡来人」
酒井清治 (駒澤大学文学部教授)
- 14:45~15:00 休憩
- 15:00~16:10 ミニシンポジウム「遺跡から見た古代武蔵・相模の社会」
- 16:10~16:15 閉会挨拶 中野多希子 (東京都埋蔵文化財センター調査研究部長)
- 16:15 閉会



<会場案内>

サンピアンかわさき (川崎市立労働会館) ホール (1階)
〒210-0011 神奈川県川崎市川崎区富士見2-5-2

【交通】

<徒歩の場合>

JR川崎駅東口・京浜急行川崎駅から徒歩約20分

<バスの場合>

川崎駅東口バス乗り場より川崎市営バスまたは臨港バス
「市営埠頭」行・「水江町」行・「塩浜」行などに乗車
「労働会館前」下車徒歩すぐ